

# 平成27年度病害虫発生予察注意報第8号

平成28年3月30日  
愛知県

作物名：コムギ  
病害虫名：赤さび病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い（早い）
- 3 注意報発表の根拠

- (1) 3月下旬の巡回調査で、本年初めて、西三河地域の複数地区で春季感染による発病株を認めた。多発ほ場も見受けられる状況である（発生ほ場率：本年30.0%、平年0%；発病茎率：本年5.0%、平年0%）（早い、多い）。
- (2) 冬季の気温が高く経過したためコムギの生育が進んでおり、すでに出穂間近となっている。赤さび病は、葉色が濃くなる出穂期頃から発生が急増することが多い。
- (3) 赤さび病菌の侵入、感染には、湿潤条件が必要であるが、高温、多照は、赤さび病の発病、まん延を助長する。名古屋地方気象台3月24日発表の1か月予報によれば、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みで、平均気温は、高い確率60%である。このため、今後、赤さび病のまん延に好適な条件が続くことが予想される。

#### 4 防除対策

本病は、多発すると葉が早期に枯れ上がり、収量・品質が低下するため、発生初期から防除することが大切である。

発病を認めたら、表を参考に薬剤を選定して、速やかに防除を行う。

表 コムギ赤さび病の主な防除薬剤

作物名	薬剤名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
麦類 (大麦を除く)	ワークアップフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	3回以内
小麦	ストロビーフロアブル	2000～3000倍	収穫14日前まで	3回以内
	シルバキュアフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	2回以内
	チルト乳剤25	2000～3000倍	収穫3日前まで	3回以内

薬剤の使用に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

#### 5 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室  
電話 0561-62-0085 内線471